

VUCAの時代を生き抜くために、会社の変革をリードできる仲間を増やす。業務部門のDX人材、はじめての一步。

CompTIAの認定資格を導入し、学びを実践することで変化に強い人材をつくる

取得対象者

DX推進部プロジェクトマネジメントメンバー

EPSON

エプソン販売株式会社

東京都新宿区新宿四丁目1番6号
JR新宿ミライナタワー
<https://www.epson.jp/>

「会社の未来を変えるプロジェクトを自分達自身でリードするために、CompTIA Project+をDX人材の知識ベースとし、そこにITと会話する力、データドリブンできる力を加え、変化に対応できる強い組織に生まれ変わり、お客様にとってなくてはならない会社であり続けることを目指しています。」

経営推進本部 DX推進部
プロジェクトマネジメント
部長 内海 雅武 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Project+
- CompTIA ITF+
- CompTIA Data+
- CompTIA Cloud Essentials+

取り組みの背景

エプソン販売は、エプソングループの国内販売会社としてエプソンが取り扱っている製品・サービスを中心に、オフィスや生産現場の効率化や働き方改革、お客様の利便性や豊かさの向上、社会課題解決に貢献できる「なくてはならない会社」を目指しています。

世の中はVUCAの時代。昨日までと同じ思考・行動の継続では、「なくてはならない会社」を実現することは不可能であり、常に変化に対応できる組織・人材に変わっていく必要があります。

そこで、まずはDXに紐づく業務改革プロジェクトをリードするメンバーにフォーカスし、学んだことを実践で活かしながら経験値を上げる「DX人材、はじめての一步」を踏み出し、変化へ対応する取り組みを開始しました。

CompTIA認定資格の導入



CompTIA Project+は、6か月程度でクロージングする10名前後の小規模なプロジェクト管理業務の基準となる認定資格



CompTIA Data+は、データを活用してビジネス（特にDX）の意思決定の促進を目的とするデータ分析業務の基準となる認定資格



CompTIA IT Fundamentals (ITF+)は、業務において「身の回り」のインフラ、ソフトウェア開発、データベース、セキュリティを「分かって使える」運用基準となる認定資格

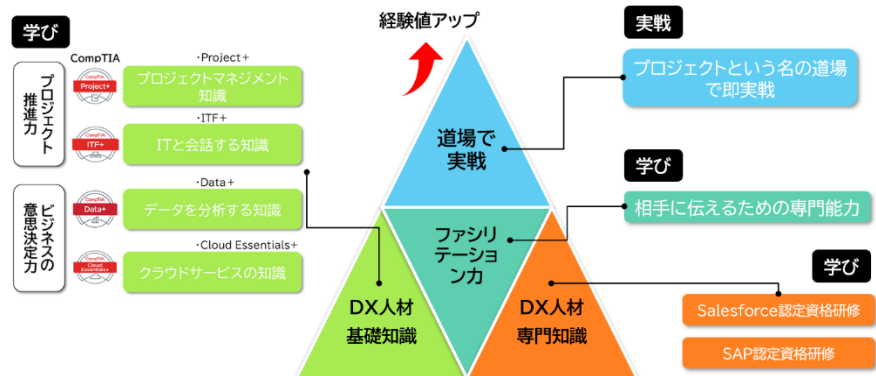


CompTIA Cloud Essentials+は、ビジネスでクラウド導入の意思決定をする際に検討するべき要件を理解し、適切にクラウド導入を推進する体系的な理解を評価する認定資格

取り組み

業務部門メンバーを対象としたDX人材育成

一般的にDXというとIT部門が先導するイメージがあります。同社のDX部門は、全員が業務部門出身であり、社内の業務改革プロジェクトのリードや社内マスタの運用・管理、お客様と繋がり続けるための仕組構築等、業務内容は多岐に渡ります。今回ご紹介する取り組みは、業務改革プロジェクトをリードするメンバーにフォーカスした取り組みであり、学んだことを実践で活かしながら経験値を上げる「DX人材、はじめての一步」です。



CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

「自分達の未来は自分達で創る、こんな掛け声から始まった業務改革プロジェクト。しかし、一歩進むとそこはコンフリクトの嵐。プロジェクトを推進するために必要な武器は何か。私達業務部門がプロジェクトを推進するための武器の一つ、それがCompTIAの認定資格です。さあ、DX人材、はじめての一步劇場の始まりです。」

経営推進本部 DX推進部ERP
町田 壮人 様

CompTIA®